

(美術) 授 業 シ ラ バ ス

教 科	科 目	単位数	学科・学年
美 術	美術概論	2単位	芸術科・第1学年6組

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	文化遺産や美術文化についての理解を深め、新たな美術文化を創造していく基礎となる能力を高める。		
教科書・副教材等	高校生の美術1、 巨匠に教わる絵画の見方	授業形態	一斉授業・個別学習

2 学習計画

学期	月	学習内容	学習のねらい	評価の観点	考査
1 学期	4	芸術学概論	美術やデザイン分野の要点となる事項と歴史の流れをつかむ	芸術の各分野における要旨が理解できたか。	プリント・レポート 課題作品
	4~6	美術、デザイン、工芸の表現要素を学習し、それに関する絵画技法、素描技法の研究的演習	美術、工芸、デザインにおける表現とは何か、著名な作品の鑑賞から技法研究や実験的演習を通して芸術への理解を深める。	美術、工芸、デザインにおける表現について理解し、技法研究や実験的演習を通して芸術への理解を深められたか。	
	7	芸術と科学について ・多角形の等分割 ・パターンデザイン	造形芸術を成立させる色彩や形態などの緒要素について、科学的に考察しまた分析し、美術の中の科学(物理)的原理について理解を高める。	芸術と科学を体系化して学習できたか。作図や紙折等の技術や画面、接着面等の美しい処理など基本技術を習得し美しい仕上がりができたか。	プリント・レポート 課題作品
8	・メビウスの輪				
2 学期	9	・多面体の等分割 ・不思議な立方体 ・立方体の中の3次元世界			
	10	量的素材による表現 課題③立方体などの幾何立体を複数個造り配置構成する	幾何立体の展開図を考え美しく制作する。 量的素材を構成材として用い全方位視点からの美的空間形成に対応する構成力を身につける。	量的素材の形状を認識し複数立体の組み合わせによる量感対比を把握、空間美を表出した立体構成ができたか。 幾何立体の展開図をきちんと描くことができたか。 紙折の技術や接着剤塗布の美的処理など、面接合の基本技法を習得し美しく制作できたか。	作品講評会
	11 12	絵画表現への応用課題④シャドウイラストレーション	光の作用による陰影手法的造形表現を学ぶことにより、アート表現への展開として立体的表現と平面的表現手法とを横断したミクストメディア作品への可能性を探り今後の制作へと繋げる思考力と意欲を培う。	陰影による物理性を表現手法とした作品制作を通してアート表現の多様性を知ることができたか。 造形表現の材料として多様な造形素材特性を知り、その加工方法が学べたか。 合理的な段取りによる制作工程の基に美しい作品が制作できたか。	作品講評会
3 学期	1 2	造形表現のまとめ 課題⑤ユニット構成	これまでに学んだ造形知識や加工技術を生かし、独自性のある美的空間を表出する。	デザインやアート表現のスタイルの多様性を識り、表現の可能性や創造性を生かした構成力を発揮し独自性のある作品制作ができたか。	作品講評会
	3	反省とまとめ 年間講評	年間の学習を通して身につけた芸術に関する知識や立体構成の技術の基に今後の制作に向けて多様な可能性を探る。	空間構成力と加工技術等や造形知識を身につけ、今後の展開へとつなげる思考力と制作意欲を養うことができたか。	作品講評会
年間の評価	作品の提出状況、観点別評価(主体的に取り組む態度、思考力・判断力・表現力、知識・技能)などを総合的に判断し評価する。				

3 その他